



春の草地管理・飼養管理について

■早春施肥について

イネ科牧草は、気温が5℃以上になると生育を再開します。この時期（萌芽期）に施肥することで有穂茎（穂が出る茎）が多くなり、1番草収量が増加します。早春の施肥が遅れると収量は減少します。ほ場が乾いて、トラクターが入れるようになったら、肥料を撒き始めましょう。

町村毎の萌芽期（令和3年～令和5年）

	稚内市	豊富町	幌延町
R5年	4/12	4/8	4/10
R4年	4/17	4/15	4/18
R3年	4/18	4/14	4/16

萌芽期とは…

ほ場の40～50%の牧草が
緑に色づく頃です

宗谷北部管内の萌芽期は
4月15日前後です

萌芽期が近づき、ほ場に入れ
るようになったら、早めに施
肥を開始しましょう

■畜舎周りの環境整備

この時期は、雪解け水などにより敷地内が泥ねい化しやすくなります。

サイロやラップ置き場の周辺、パドック、屋外の子牛飼養場所（ハッチ等）などの排水対策を行いましょう。

■乳牛飼養管理

寒暖差が激しいこの時期、牛がエサを十分食い込める環境を整えるとともに、乳牛の体調変化に留意しましょう。

- ・換気を行う … 天候に応じた窓の開閉や換気扇の稼働など十分な換気を行う！
- ・水槽掃除 … 乾物摂取量を下げないために、キレイな水を給与する！
- ・こまめなエサ寄せ … いつもでも口元にエサがある状況を作る！

■お問い合わせ

宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所 TEL 0162-82-2119



HPは「宗谷農業改良
普及センター」で検索、
またはQRコードから